

氏名	尾崎康子
職位	教授
学位	博士(心理学)
専門分野	臨床発達心理学
主な担当科目	特別支援教育・保育概論、子ども家庭支援論
所属学会	日本発達心理学会、日本保育学会、日本特殊教育学会
研究業績 著書、研究論文、学会発表：番号、書名・論文タイトル、単・共著、出版社・発行所、発行年	1. 社会・情動発達とその支援、共著、ミネルヴァ書房、2017年 2. 臨床発達支援の専門性、共著、ミネルヴァ書房、2018年 3. よくわかる障害児保育第2版、共著、ミネルヴァ書房、2018年 4. 気になる子の手先の器用さのアセスメント、共著、ミネルヴァ書房、2018年 5. 社会的認知の発達科学、共著、新曜社、2018年 6. 自閉スペクトラムの発達科学、共著、新曜社、2018年 7. 社会的コミュニケーション発達が気になる子の育て方がわかるふれあいペアレントプログラム、単著、ミネルヴァ書房、2018年 8. 手先の器用さを育てる保育ワーク～発達を促すインクルーシブ保育教材～、共著、ひかりのくに、2019年 9. 空間認知能力を中心とした考える力を育てる保育ワーク～発達を促すインクルーシブ保育教材～、共著、ひかりのくに、2019年 10. 社会的コミュニケーション発達が気になる子の育て方がわかるふれあいペアレントプログラム(指導者用ガイド)、共著、ミネルヴァ書房、2019年
学会活動及び社会活動(講演、講師派遣、委員など)	日本臨床発達心理士会研修委員会委員長 東京特別支援教育心理研修センター理事 ふれあいペアレントプログラム推進研究会代表

氏名	小木曾宏
職位	教授
学位	法学士
専門分野	児童虐待 保育実習指導 司法福祉
主な担当科目	子ども家庭福祉、保育実習指導Ⅰ・Ⅲ、社会的養護Ⅱ、専門ゼミ
所属学会	日本子ども虐待防止学会、日本司法福祉学会、日本福祉学会
研究業績 著書、研究論文、学会発表：番号、書名・論文タイトル、単・共著、出版社・発行所、発行年	<著書> 1. 編著『児童虐待時代の福祉臨床学—子ども家庭福祉のフィールドワーク』明石書店 平成14年 2. 編著『Q&A子ども虐待問題を知るための基礎知識』明石書店、平成15年 3. 編著『児童自立支援施設の可能性—教護院からのバトンタッチ』ミネルヴァ書房、平成16年 4. 単著『現場に生きる子ども支援・家族支援—ケース・アプローチの実際と活用』生活書院 平成19年 5. 編著『児童自立支援施設これまでとこれから—厳罰化に抗する新たな役割を担うために』生活書院、平成21年 6. 共著『施設における子どもの非行臨床—児童自立支援事業概論』明石書店、平成26年 7. 共著『よくわかる更生保護』ミネルヴァ書房、平成28年 8. 編著『地域子ども家庭支援の新たなかたち—児童家庭支援センターが繋ぎ、紡ぎ、創る地域養育システム』生活書院、令和元年 9. 編著『社会的養護Ⅱ』ミネルヴァ書房、令和4年 10. 編著『児童福祉施設における性的問題対応ハンドブック』生活書院、令和4年
学会活動及び社会活動(講演、講師派遣、委員など)	1. 日本子ども虐待防止学会評議員 2. 千葉県児童福祉審議会「児童虐待死亡事件検証委員会」副委員長 3. 千葉県虐待対応専門委員 4. 千葉県家族関係支援事業スーパーバイザー 5. 川崎市児童相談所アドバイザー 6. 横浜市児童福祉審議会委員 7. 千葉県、群馬県、茨城県「児童福祉司任用前後職員研修講師」 8. 令和4年度・厚生労働省委託研究「社会的養育推進における在宅指導措置のあり方に関する調査研究」研究委員

氏名	井村礼恵
職位	講師
学位	修士(教育学)
専門分野	環境教育、保育内容「環境」、各教科の教育(生活)、キャリア教育
主な担当科目	「子どもと環境Ⅰ」「子どもと環境Ⅱ 指導法」「保育内容総論」「教育方法論」「キャリア・デザイン」「教育実習Ⅰ・Ⅱ」
所属学会	日本保育学会、日本環境教育学会、日本生活科総合的学習教育学会、日本社会教育学会、
研究業績 著書、研究論文、学会発表:番号、書名・論文タイトル、単・共著、出版社・発行所、発行年	<著書> 『地域に学ぶ、学生が変わる -大学と市民でつくる持続可能な社会-』,共著,東京学芸大学出版会,平成24年. 『持続可能な社会のための環境教育シリーズ〔6〕入門 新しい環境教育の実践』,共著,筑波書房,平成28年. <論文> 「生活体験学習の構造化に関する試論—環境教育実践の視点から」,単著,『日本生活体験学習研究』(日本生活体験学習学会)Vol.3,平成15年. 「ホーム・ガーデンによる雑穀の生物文化多様性保全～エコミュージアム日本村植物と人々の博物館づくりを通じて」,共著,『エコミュージアム研究』(日本エコミュージアム研究会)Vol.13,平成20年. 「プロジェクト学習科目『植物と人々の博物館づくり』の方法論と評価」,共著,『環境教育』(日本環境教育学会)Vol.20 No.3,平成23年. 「絵本を活用した『保育内容研究・環境』に関する授業実践について」,単著,『鶴川女子短期大学研究紀要』第29号,平成23年 「統合的な環境学習枠組の可能性:『ELF環境学習過程』を適用した講義科目等の評価」,共著,『環境教育』(日本環境教育学会)Vol.23 No.2,平成25年. 「被災地支援活動を通じた学生の社会力育成の試み」,共著,『鶴川女子短期大学研究紀要』第33号. 「保育内容『環境』の具体的学びとつなげる『実習指導』」,単著,『東京経営短期大学紀要』第30巻,令和4年. 「学生自身のキャリア教育と関連させた『実習指導』～社会人に求められる資質・能力への理解の視点から～」,単著,『東京経営短期大学紀要』第30巻,令和4年.
学会活動及び社会活動(講演、講師派遣、委員など)	NPO法人自然文化誌研究会運営委員(平成15年より) 山梨県都留地区校長会 講演(平成19年度) 神奈川県大和市公立保育所副園長会 研修会講師 全3回(平成24年度) 神奈川県大和市公立民間保育園 合同講演会講師(平成24年度、平成27年度)

氏名	佐久間 康
職位	教授
学位	体育学修士
専門分野	体育学
主な担当科目	体育Ⅰ、子どもと健康、からだとスポーツ、障害者スポーツ論、スポーツボランティア
所属学会	一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会、スポーツ史学会
研究業績 著書、研究論文、学会発表：番号、書名・論文タイトル、単・共著、出版社・発行所、発行年	著書 1.体操とスポーツと教育と、共著、見形道夫先生退職記念論集刊行会、平成元年12月 2.先生なぜですか ネット型球技編、共著、(株)大修館書店、平成3年10月 3.近代体育スポーツ年表三訂版、共著、(株)大修館書店、平成11年4月 4.教養としてのスポーツ人類学、共著、(株)大修館書店、平成16年7月 5.スポーツ人類学、共著、(株)明和出版、平成16年9月 6.知るスポーツ事始め、共著、(株)明和出版、平成22年6月 学術論文 1.競技剣道の成立過程に関する研究－講武所における剣術の検討を中心に、単著、日本体育大学大学院 昭和63年度修士論文、平成元年3月 2.稽古の概念－昭和初期の剣道書と『五輪書』との比較検討、単著、日本体育大学紀要21巻1号、平成3年9月 3.戦時体制下における小学校の「武道」教育に関する研究－体育教材としての「武道」の採用について－、単著、東京経営短期大学紀要 第2巻、平成6年3月 4.旧競馬料に残存する神事競馬の事例研究(2)－お供馬の運営システム－、共著、日本体育学会スポーツ人類学専門分科会・「スポーツ人類学研究 第2号」、平成10年3月 5.ウォークラリーコース作成を授業に取り入れるための留意点、共著、Leisure&Recreation自由時間研究36号、日本レクリエーション協会公認指導者養成家庭認定校研究連絡会議、平成22年3月 6.教員組織による教養科目の授業改善Ⅱ－ノート・フリーター化を防止するための教育カリキュラムの開発－、共著、東京経営短期大学紀要第15巻、平成19年3月 7.複数大学の合同実施による野外実習に関する研究-参加大学生の意識調査を中心に-、共著、東京経営短期大学紀要第18巻、平成22年3月 8.年齢・経験の違いによるキンボールスポーツの運動強度-小学生を対象として、共著、Leisure&Recreation自由時間研究36号、日本レクリエーション協会公認指導者養成家庭認定校研究連絡会議、平成22年3月 9.本学学生の体格・体力の現状について－生涯スポーツ(フィットネス・コース)履修者について－、共著、東京経営短期大学紀要 第12巻、平成16年3月 10.女子ラクロスの基礎的研究－その1 試合中の移動距離について、共著、東京経営短期大学紀要 第13巻、平成17年3月 11.キンボールを授業内で行なう場合の運動強度と効果に付いて、共著、Leisure&Recreation自由時間研究35号、日本レクリエーション協会公認指導者養成家庭認定校研究連絡会議、平成21年3月
学会活動及び社会活動 (講演、講師派遣、委員など)	

氏名	小川千尋
職位	助教
学位	修士
専門分野	教育学
主な担当科目	子どもと表現、幼児体育、子どもとあそび
所属学会	一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会/日本スポーツ教育学会
研究業績 著書、研究論文、学会発表：番号、書名・論文タイトル、単・共著、出版社・発行所、発行年	●(学術論文)日本女子体育大学大学院修士論文:「ダンス授業を苦手とする中学校保健体育科教師の創造的なダンスに関する授業観の変容とその要因—典型教材を用いた授業実践と省察を通して—」を修士論文テーマとして作成した。 ●(スポーツ庁委託事業)令和3年度武道等指導充実・資質向上支援事業「指導成果の検証」:スポーツ庁の委託事業として、日本女子体育大学が実施した令和3年度武道等指導充実・資質向上支援事業「指導成果の検証」の「第1部 中学校ダンス授業に関する指導成果の検証(p5～p27、p28～43)」の作成に寄与した。
学会活動及び社会活動(講演、講師派遣、委員など)	●教育方法の実践例: 「2021年2月」清瀬市立清瀬第四中学校の生徒に向けたダンス授業の実施。中学全学年、全クラスのダンス授業(各4単位分)を担当。典型教材に基づいた創作ダンス及び現代的なリズムのダンスの授業を実施。(診断的総括的評価実施) 「2022年7月」アゼリー学園浦安幼稚園への保育士に向けたダンス指導 「2022年7月」コンソーシアム市川「ナナカラプロジェクト」における小学生の創作ダンスの指導
氏名	古谷和子
職位	講師
学位	修士
専門分野	音楽表現
主な担当科目	器楽演習(ピアノ)、声楽、音楽理論
所属学会	日本保育学会 全国大学音楽教育学会
研究業績 著書、研究論文、学会発表：番号、書名・論文タイトル、単・共著、出版社・発行所、発行年	【著書】 ・『保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集』1・2—選べる3ステップ—改訂版(共著)(学研パブリッシング)2017 ・『小学校教諭のための歌唱共通教材 ピアノ伴奏集(映像で弾き方が確認できる)』(共著)(学研パブリッシング)2019 【研究論文】 ・「ジャック・ダルクローズとモンテーニュの子ども教育観に関する比較研究」(単著)小池学園紀要第15号 2017 ・「J=ダルクローズの音楽教育観に関する一考察—哲学者達の言説を基に—」(単著)明星大学大学院 2017 ・「小学校養成課程におけるピアノの自主支援の試み—歌唱共通教材を対象としたテキスト開発を基に—」(共著)東京経営短期大学紀要第29号 2021 ・「オンライン授業の効果的なピアノ指導法」(共著)東京経営短期大学紀要第30号 2022 【学会発表】 ・全国大学音楽教育学会 創立30周年記念大会・第30回全国大会<東京大会>「現代の保育者養成校における子どもの歌—習熟度別の伴奏に着目して—」(共同研究発表)2014 ・全国大学音楽教育学会 関東地区学会研究会 独唱 演目「うれしいひなまつり」「おつかおありさん」「どんないろがすき」(於:汐留ベヒシュタインサロン)(共同研究演奏)2015 ・日本保育学会 第71回大会「保育士養成校における表現発表会の意義」(共同研究発表)2018 ・全国大学音楽教育学会 関東地区学会研究会 独唱 演目「ふるさと」「ひらいた」「茶つみ」(於:汐留ベヒシュタインサロン)(共同研究演奏)2019
学会活動及び社会活動(講演、講師派遣、委員など)	よしかわエンゼル保育園音楽講師